



学校だより

平成17年1月6日
市川市立妙典中学校

やつと昨日の大みそかになつて
妻と入してついた餅を食つ
これでもか、これでもかと
1年中の苦労のかぎりを
したたか杵で叩き込んだ
その餅を食つ
としよりもおあがり
母ちゃんもお食べ
子どもたちもたんとおかわりして
天にとどけと腹づみ打て
おろおろ歩いた1年は明けたぞ
どうにかお日様とにらめっこできま
おめでとう　おめでとう
みんなしんそこ丈夫になつてな
今年もかせにまげぬようにな
負けても泣いたりふくれつ面はせずにな
人間太鼓の行列作つて
どんどんどこだまをかえして
歩いていこうな　胸をはつてな

雑煮を食つ

磯永秀雄

新年明けましておめでとうございます

誰もがそれぞれの願いを胸に秘めて、新しい年2005年を迎えるました。何となく今年は良いことあるごとし。元旦の朝、晴れて風なし」そんなことばがぴったりの初春にふさわしい穏やかな日が続きました。年賀状や書き初めに記した今年の誓いは確実なものになっているでしょうか?子どもたちの誓いを「初夢」に終わらせないように学校と家庭とのつながりをさらに密にしながら、今年もがんばりましょう。

さて、1月は新しい年のスタートの月ですが、学校は新年度に向かたまとめの時期にさしかかってきます。3年生にとっても入学試験というはじめての試験がやってきます卒業式まで、実質2ヶ月しかありません。有終の美を飾れるようがんばってほしいと思います。1、2年生は、まとめの学期として悔いの残らないような生活をこころがけて下さい。

「冬來たりなば、春遠からじ」どんな意味かな?
寒く厳しい冬が来たということは、暖かくそして素晴らしい春が近いという意味です
厳しい冬を経験せずに楽しい時はくるはずがない。今、この厳しい冬に苦しめば苦しむほど、やってくる春の暖かさに格段の喜びを感じることだろうと思います。
自分自身に厳しく、節度ある1年間の最後の学期を充実させていきましょう。

「クラスメート」



鎌ヶ谷市立第三中学校3年
給食の時間、いつものように、みんなは3つ残っているデザートのためにジャンケンをしていた。その時先生が「どうしてうちのクラスは毎日デザートが3つ余るのでしょう」と言った。私はハットした。このクラスは34人。給食も34個。それが余るということは……。

私は勉強は大嫌いだけど、学校は大好きなので、学校を休みたいという気持ちはよくわからない。だから、友達と相談し、ノートをとってその子に届けることにした。学校のこと、3年6組のことを知ってほしいという思いで続けた。

その思いが通じたのだろうか。その子は少しずつ、学校に来るようになった。給食のデザートの残りは3個から2個へと減った。残りの2個も時間をかけて減らしていかたい。そして34個の机と椅子に34人で座って、34個の給食を笑いながら食べられるクラスになれるといいなと思う。

〔小さな親切NEWSより〕

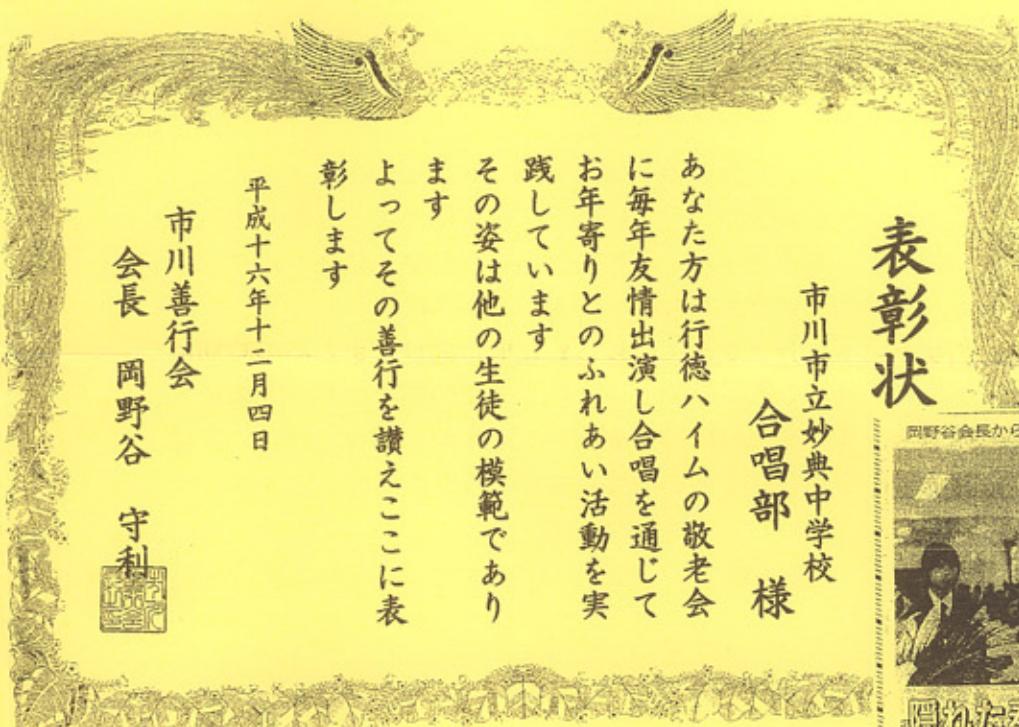
心優しい3年生の生徒さんが書いた「小さな親切」という作文です。

読んでみて、とても胸が熱くなります。

友達の困った顔、寂しい顔、悩んでいる顔をもし見かけたら、なにか温かいことばがかけられるといいね。職員室でも風邪で休まれた先生がいらっしゃると「大丈夫?」っていう声をあちこちで耳にします。なにげない一言だけど、そんなことばをかけられた先生は「よし、がんばろう」って気持ちに、きっとなるかも知れない。

合唱部 善行賞 おめでとう

本校の合唱部が、16年度市川市善行会会長より善行賞をいただきました。この賞は、本校の合唱部が長年にわたり、地域(行徳ハイム)の敬老会に友情出演し合唱を通じてお年寄りの方々とのふれあい活動の実践を評価されたものです。これからも、ずっとこのような活動を続けられるといいですね。合唱部の皆さん、おめでとう。



恩れた奉仕を称えて表彰

市川善行会が24個人・2団に賞状と記念品贈る